

「自閉スペクトラム症に関するスティグマ尺度作成と

大学生を対象にした調査」へのご協力をお願い

この文書は、「自閉スペクトラム症に関するスティグマ尺度作成と大学生を対象にした調査」の内容について説明したものです。この研究に参加されなくても不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。もし、おわかりになりにくいことがありましたら、どうぞ遠慮なく担当者にお尋ねください。

1. この研究の概要

研究課題

自閉スペクトラム症に関するスティグマ尺度作成と大学生を対象にした調査

研究責任者氏名・所属・職名

・渡辺慶一郎・東京大学 相談支援研究開発センター・教授

研究従事者氏名・所属・職名

・大島紀人 ・東京大学 相談支援研究開発センター・講師
・梶奈美子 ・東京大学 相談支援研究開発センター・助教
・川瀬英理 ・東京大学 相談支援研究開発センター・助教
・綱島三恵 ・東京大学 相談支援研究開発センター・特任専門員
・大島亜希子・東京大学 相談支援研究開発センター・技術補佐員

研究目的

自閉スペクトラム症 (Autism Spectrum Disorder:ASD) の性質がある学生の QOL を向上させる要因として、当事者の支援 (ピアサポート) の可能性が示唆されています (加藤 2016) (Komeda 2015)。その要因として ASD 当事者あるいはその傾向がある者には、ASD に特異的なスティグマが少ない可能性があるのでは無いかと推測しています。

本研究では、国際比較が可能な Autism Stigma and Knowledge Questionnaire (ASK-Q) (Harrison 2017) の日本語版を作成し、それをを用いて一般的な大学生の ASD 特異的なスティグマを評価することを目標としています。これを明らかにすることで、ASD やその傾向がある学生の生きづらさを軽減するためには、周囲の者のスティグマを軽減するという新しい支援アプローチの可能性が開かれると考えています。

研究方法

自己記入式のアンケート形式の調査です。本調査の主な目的としては、以下の4点があげられます。

- 1) Autism Stigma and Knowledge Questionnaire (ASK-Q)の日本語版を作成すること
- 2) 一般的な大学生の ASD に関する知識やスティグマを評価すること
- 3) ASD 傾向と、ASD に関する知識やスティグマに関係があるという仮説を検証すること
- 4) これらの結果を、ASD がある学生の QOL を向上させる支援策定にいかすこと

アンケートには、自閉スペクトラム症や精神的健康度についての質問項目が含まれます。回答には、およそ 40 分程度を必要とします。無記名式で行うため、個人が特定されることはありません。

2. 研究協力の任意性と撤回の自由

この研究にご協力いただくかどうかは、あなたの自由意思に委ねられています。無記名式のアンケートですので、一旦回答された場合は全体のデータからあなたのものを特定することができませんのでご注意ください。なお、研究にご協力いただけないことで、あなたの不利益に繋がることは一切ありません。

3. 個人情報の保護

研究にあたってはあなたに不利益が生じないように個人情報を保護し、プライバシーを尊重するために、アンケート会社から私共に提供されるあなたのデータには、氏名・住所・生年月日など個人を特定される情報は含まれません。

4. 研究成果の発表

研究の成果は、統計処理され、学会発表や学術雑誌及びデータベース上で公表します。

5. 研究参加者にもたらされる利益及び不利益

この研究が、あなたに即座に有益な情報をもたらす可能性は、現在のところ低いと考えられます。しかし、この研究の成果は、今後の発達障害の臨床研究の発展に寄与するための重要な基礎的成果となることが期待されています。

6. 資料・情報の取扱方針

あなたからいただいた情報（個人が特定される情報は含まれません）を、研究や分析等に用います。また、東京大学相談支援研究開発センターのプレハブ研究 A 棟において、この研究成果の発表後少なくとも 10 年間保存いたします。

提供していただいた貴重な情報はあなたの同意が得られた場合に限り、新たな研究のために発達障害研究のためのデータベースに登録して、当機関で用いたり国内外の機関に提供したりする場合があります。現時点では、将来の研究目的を知ることができませんが、提供する場合には改めて東京大学倫理審査専門委員会の審査を受けた上で利用や提供を行います。

7. あなたの費用負担

この研究に必要な費用をあなたが負担することはありません。また、この研究に参加していただいた場合、アンケート会社の規定による謝礼が支払われることがあります。

8. その他

この研究は、東京大学倫理審査専門委員会において審査し、東京大学相談支援研究開発センター長の承認を受けて実施するものです。なお、この研究に関する費用は、公益財団法人倶進会から支出されています。利害関係が想定される企業等で研究責任者や従事者あるいはその家族が活動して収入を得ていることはありません。ご意見、ご質問などがございましたら、お気軽に下記までお寄せください。

連絡先

研究責任者 渡辺慶一郎
東京大学相談支援研究開発センター
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
Tel: 03-5841-7867
E-mail: wwatanabe-tky@umin.ac.jp